

進路だより NO4

令和7年3月18日
東京都立王子特別支援学校
校長 久保井 礼
渉外部 進路指導部門

本年度も本校の進路指導に御理解、御協力をいただきましてありがとうございました。
今回は、小学部5年生の清掃教室、小学部6年生の作業学習見学、中学部2年生のたんぽぽカフェ、高等部の進路先報告会の様子をお知らせいたします。

< 小学部5年生 清掃教室 1月10日 >

1月10日（金）に小学部5年生対象の清掃教室が行われました。本校高等部クリーン班を指導していただいている3名の講師の先生方に来ていただき、「テーブル拭き」「モップ掛け、掃除機掛け」の2グループに分かれて活動を行いました。まず、清掃のポイントを教わった後に、実際に一人ずつ前に出て体験、「テーブル拭き」では、ロールリンガーという布巾を絞る用具に挑戦しました。手を巻き込まれないよう気を付けながらハンドルを回すと、絞られた水が落ちていく、その様子を興味津々で見っていました。「モップ掛け」では、机の下にゴミを見つけると、椅子を動かして丁寧に清掃することができました。

体験が終わった後は、5年生全員で講師の方々に感謝を伝えました。普段の清掃とは少し違った方法や用具を体験しましたが、どの児童も熱心に取り組むことができました。

掃除機



テーブル拭き



モップ掛け



ロールリンガー



< 小学部6年生 中学部作業学習見学 1月14日 >

小学部6年生が1月14日（火）、中学部の作業学習（紙工班、事務リサイクル班、食品加工班）の見学と、体験をしました。中学部では【仕事への関心を高めながら、働く姿勢を学ぶ】ことを目指して作業学習をしています。まず、中学部の教員から説明を聞きました。どんな学習なのかスライドをよく見ていました。【おしゃべりしないで話をよく聞く】【食品加工班では衛生に気を付ける】といった約束事を確認してからプレイルーム棟の作業学習の教室へ。グループ毎にそれぞれの教室に入り、担当する教員の説明を聞きました。決められた手順通りに先輩たちが頑張る様子に小6の児童も興味津々の様子でした。また、その後、作業の一部を教室で体験しました。 Tongueでクッキーを袋に入れたり、シュレッターを体験したりしました。慣れないながらも一生懸命に取り組む姿が見られました。



食品加工班の見学



教室での作業体験



教室での作業体験

< 中学部 2年生 喫茶接客体験 『たんぽぽカフェ』 3月7日 >

中学部2年生は、喫茶接客体験として「たんぽぽカフェを開こう」という単元で学習をしてきました。開店に向けて、高等部クリーン班の生徒に除菌清掃の仕方を習ったり、食品加工班が実施している王子カフェを利用したりしました。身近な先輩たちが丁寧に仕事をしている様子を見ることで「働く」意識を育むことができました。また、スターバックスコーヒージャパン王子駅前店、ビーンズ赤羽店の店長を講師としてお招きし、接客をする上でのポイントなどを御指導いただきました。働くことへの緊張感だけでなく、「お客様に喜んでもらいたい」という気持ちをもち練習に励むことができました。「受付係」「ホール・案内係」「盛り付け係」「片付け係」の4つの係に分かれ実施しました。生徒一人一人が自分の仕事内容を覚え、他クラスの生徒とも連携、協力をしながらすすめることができるようになりました。リハーサルでは実際にお客様を迎えることで緊張したり、難しさを感じたりする生徒もいましたが、本番では保護者の方に来店していただき、「楽しんでもらいたい」「頑張っている姿を見てほしい」などと生徒自身も笑顔で楽しむ余裕が見られました。美術で制作した作品も展示し、和やかな雰囲気のカフェを実施することができました。



< 高等部 進路先報告会 3月10日 >

高等部3年生にとっては最後の進路行事となる進路先報告会が行われました。高等部全員と、今年度も中学部3年生が参加したので、生徒、教員合わせて300名近い規模での報告会となりました。高校3年生はクラスや職業の授業で練習した成果を発揮し、たくさんの人の前でも舞台上から、氏名、進路先、仕事内容、抱負を一人で立派に発表することができました。また、各自が考えた抱負は、それぞれの思いを強く感じるものでした。

高校1年生、2年生にとっては身近な先輩たちの進路先がどういった所なのか、興味深く聞き入っており、メモ帳を持参して、気になる会社名をメモする姿も見られました。中学3年生は高等部らしい少々厳かな雰囲気を感じながら静かに参加することができました。

中学部、高等部それぞれの立場で学ぶことができおり、進路的な学習の集大成のような報告会となりました。



中学3年生しっかり聞いています



全員が注目する中で発表しました



熱心にメモをとっています